広告　企画・制作＝日本経済新聞社
クロスメディア営業局

3月21日は　バルブの日。

未来へつなぐ　バルブがつなぐ

流体制御機器であるバルブはいま、IoT（モノのインターネット）や人工知能（AI）などの最先端技術を備え、
安全性向上や効率化に向けた新たなシステム構築をリードしている。
明日、3月21日は日本バルブ工業会が制定した「バルブの日」。バルブがつなぐ未来について、日本バルブ工業会の中村善典会長に話を聞いた。

コラボレーションで最先端産業に参入　イノベーション創出を促す改革へ

日本バルブ工業会 会長
中村 善典氏

バルブは社会に無くてはならない存在です。居住環境では給水、給湯、ガス、排気、空気調和などを支え、産業分野では石油、電力、造船、運輸、通信などの発展にも大きく貢献しています。ロケットをはじめとする宇宙開発など最先端の技術が集まるフィールドでも流体制御の要を担っています。以前、イタリアの古代都市ポンペイを訪れた時、紀元前から使われていたバルブを見て、いつの時代も社会インフラの進化を縁の下で支えながら技術革新を実践してきたのだと気付かされました。

バルブ業界もいま、IoTやAI、ビッグデータといった先端技術を活用していく時代を迎え、これまでのような機械工学出身の人材だけでなく、電子情報工学や電子情報システムなど幅広い分野の人々が活躍できる業界へと変革しています。「働き方改革」が叫ばれていますが、労働環境だけでなく、イノベーション創出を促すような働き方改革を目指すべきだと考えています。

日本バルブ工業会には、世界に誇る技術を備えた企業がそろっています。グローバルな舞台や先端産業の開発分野などでは我々の技術へのニーズが必ずあります。いま必要なのは、これまであまり接点のなかった業界とコラボレーションできるシステムです。インターネットの発達は、国内に居ながら世界の企業とつながることを可能とし、どんな規模の企業であれグローバル化するチャンスを生み出しました。いま、それぞれの企業は自社のネットワークを駆使しながら、社会の課題解決や未来の社会インフラ構築に取り組み始めています。

コラボレーションを促すために、自ら改革しなければならないこともあります。それはコミュニケーション力を高めることです。安全や効率化に関わる仕事ですから、技術分野の人材もより深い技術の会話を進めていく必要があります。そのためには外国語を身に付ける必要も出てくるでしょう。

若い人々が夢を持つ産業であり続けられるために、180社の会員が力を合わせて「未来の社会構築」に向けて果敢にチャレンジしていきたいと思います。

オンオフバルブマネージャ APOSA

オンオフバルブのスマート化は大幅に遅れていました。スマート化の遅れは少子高齢化により労働力が失われるなか、機器の信頼性を確保しづらい大きな問題です。このような問題に対し、オンオフバルブマネージャ APOSAは開発されました。電磁弁では成し得なかった機能を持ち、大幅なコストアップをせずにオンオフバルブの機能向上を実現する製品です。

金子産業株式会社
TEL：03-3455-1411
URL：http://www.kaneko.co.jp/

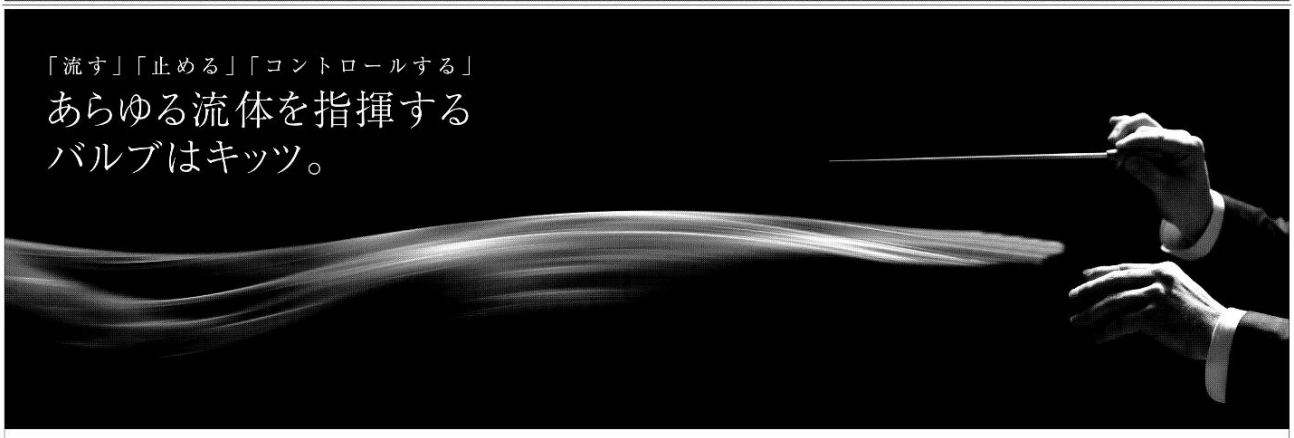
Silent Technology KANEKO

過去から未来へ
JVMA
一般社団法人日本バルブ工業会

OKM
株式会社 オーケーエム

NDV
日本ダイヤバルブ株式会社

「流す」「止める」「コントロールする」
あらゆる流体を指揮する
バルブはキッツ。



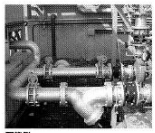
KITZ
株式会社キッツ
千葉県千葉市美浜区中瀬 1-10-1 http://www.kitz.co.jp
◎ハンドルは信頼されるバルブのブランド「KITZ」のシンボルです。

KITZ Group
東洋バルブ 株式会社
株式会社 清水合金製作所
株式会社 キッツエスシーティー
三吉バルブ 株式会社
株式会社 キッツエンジニアリングサービス
株式会社 キッツマイクロフィルター
KITZ Corporation of Asia Pacific Pte. Ltd.
上海開遠国際貿易有限公司
Micro Pneumatics Pvt. Ltd.
KITZ Corporation of America
Metalúrgica Golden Art's Ltda.
KITZ Corporation of Europe, S.A.
Perrin GmbH
他、全33社

水素ステーション用ボールバルブ

高純度流体用バルブ

低温 LNG 液化プラント用バルブ



配管例